

法人本部	☎250-0004 小田原市浜町1-4-38 ☎0465-22-7667 ☎0465-24-4411
小田原児童園	☎250-0004 小田原市浜町1-3-8 ☎0465-22-3523 ☎0465-22-3524
ほうあんりずのそり	☎250-0004 小田原市浜町1-3-8 ☎080-4371-1900 ☎0465-22-3524
ほうあんのぞみ	☎250-0004 小田原市浜町1-2-15 ☎0465-22-8837 ☎0465-22-8089
ほうあん生活ホーム	☎250-0201 小田原市曾我大沢7 ☎0465-41-4010 ☎0465-41-2666
ほうあんふじ	☎250-0201 小田原市曾我大沢7 ☎0465-41-4020 ☎0465-41-2777
ほうあんふじみのさと	☎250-0204 小田原市堤府川389 ☎0465-29-0146 ☎0465-29-0705
ほうあん第二おん	☎250-0024 小田原市堤府川383 ☎0465-28-2250 ☎0465-28-2251
ほうあんホームシラス	☎250-0024 小田原市堤府川389-1 ☎0465-28-2250 ☎0465-28-2251
こどもホッと相談カフェ	☎250-0042 小田原市堤府川362-2 ☎0465-32-3020 ☎0465-32-3085

福祉 ほうあん

◎社会福祉法人宝安寺社会事業部 2016 (Q「福祉ほうあん」は同社誌を使用しています)

福祉の世界で働くってどんなこと?

歩んできた道のりが
今の自分を
作っている

発行/社会福祉法人宝安寺社会事業部
☎250-0004 小田原市浜町1-4-38
☎0465-22-3030 ☎0465-24-4411
編集/上田理、中山里奈、舘原清美、柳沢吉子、新倉悠、須田貴子、櫻井華弘、久保未希子、大木清世
デザイン/鈴木佳夫
印刷/増セトプリント
<http://houan1900.jp>



人生のあらゆる経験に無駄はありません。経験は人を成長させます。歩んできた道のりが今の自分を作っています。今号では、その人生経験を仕事に活かして生き生きと働いている職員を紹介しましょう。

ほうあんふじみのさと／支援員・西垣希さんに聞きました

Q 自分の思いを伝えることが難しい利用者と分り合えな瞬間が怖い。日々の支え

A 立は大変で、いつも葛藤しながら働いています。ふじみのさとで働き始めた頃は一番下の子が2歳でした。保育園に預けて仕事に

西垣さんのある一日

- 5:00 起床
- 家事
- 6:00 長男とラジオの基礎英語E聞く
- 7:00 朝食
- 長女とピアノの練習
- 8:00 次男を保育園へ送り、出勤
- ふじみのさと 利用者さんのために働く
- 18:00 退勤
- 子どものお迎え
- 19:00 帰宅
- 夕食
- 20:00 家族と一日の出来事を話したりして過ごす
- 21:00 子どもが寝てから残りの家事
- 自分の時間
- 24:00 就寝

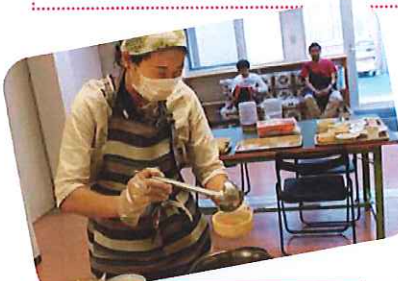
〇さんのために作ったハンドルを回すと毛糸が回り糸になっていく装置

A 家庭と仕事の両立は大変だと、思いますが、いつも明るく利用者に接していますね。どのような

A 家庭と仕事の両立は大変で、いつも葛藤しながら働いています。ふじみのさとで働き始めた頃は一番下の子が2歳でした。保育園に預けて仕事に

Q 仕事を辞めたいと思ったことはありますか?

A 専門学校を出て働きだしたばかりの頃、夜勤中に「下カ」という岩が落ちるような音がしました。利用者が階段の踊り場から下の階に飛び降りたのです。事故ではありましたが、私の気を引くためにわざと落ちたのです。その方は足を骨折しただけで命に別状はありませんでした。でも、その出来事がありました。利用者さんが飛び降りたあの日、対応に追われて慌ただしいなかで、先輩は動揺する私を休憩に行かせてくれました。大丈夫。あなたのせいではないんだよ。と言ってくれた先輩の一言が支えになって仕事を続けることができました。



【西垣希さんのプロフィール】専門学校を卒業後、知的障害者入所施設で働いた後、結婚を機に退職。3児の母。2年半前より、ほうあんふじみのさとで非常勤職員として働く

利用者が階段の踊り場から下の階に飛び降りたのです。事故ではありましたが、私の気を引くためにわざと落ちたのです。その方は足を骨折しただけで命に別状はありませんでした。でも、その出来事がありました。利用者さんが飛び降りたあの日、対応に追われて慌ただしいなかで、先輩は動揺する私を休憩に行かせてくれました。大丈夫。あなたのせいではないんだよ。と言ってくれた先輩の一言が支えになって仕事を続けることができました。

宝安寺社会事業部のプロフィール

【浜町地域】宝安寺の境内には、2つの保育園と病後児保育室、知的障害者の就労支援と日中活動を支える事業所とお店、グループホームがあります。産休明けから小学校入学までの乳幼児と病後児を保育し、一方で知的障害者が町の中で暮らしを援助をしています。

【曾我大沢地域】発達に心配のある地域の幼児の療育とそのご家族への援助を目的とする児童発達支援センターと、ご家族から離れて暮らしながら穏やかに生活・自立を目指す成人の知的障害者の生活を支える施設入所支援の場があります。また日中も通所してさまざまな活動を行う場を提供しています。

【根府川地域】知的障害者が通う日中活動の場(事業所)が2つあります。この2つの事業所が協同して、事業所利用者それぞれに適切な作業や余暇活動を用意し、地域社会の中で当たり前の生活を安心してできるようにしています。また地域の障害のある児童のための放課後等デイサービスも実施しています。

利用者にはどのような方がいらっしゃるのでしょうか。また、心にかけていることを教えてください。

22歳の女性利用者Oさんについてお話しします。Oさんと接し始めた当初は、発語がない彼女に「私たちの言葉は通じてない」と思っていました。また、食事や排泄の場面でもOさんができないという前提でこちらからの介助を多く行っていました。しかし、お母さんとのやりとりの中で、本来はもっといろいろなことを自ら行うことができるのに発語できていないのではないかと、支援を見直していききました。

作業の場面では、彼女の偶発的な動作を狙ったような以前の作業から、何かを掴んで押したり引っ張ったりが好きな彼女に合わせて、ハンドドルを回すとき毛糸が回って束になっていく装置を作りました。1回でもハンドドルを回したら誉めて、できたものをOさんの目の前で仕上げ、自分が行ったことが何に繋がっているのかを伝えました。職員みんなで声をかけ、失敗と成功を繰り返して確実にものにしていきました。流れに乗った動きをすることが得意であること、

今やっていることが何に繋がっているのか理解できると積極的に取り組めることが分かってきました。今では作業の時間になると自ら進んで作業に向かい、集中して取り組まれています。

支援で大切にしていることは、利用者の言葉にできない気持ちを憶測でも代弁することです。例えば、作業の時間になってもなかなか席に向かえない場面では今日は仕事をやる気持ちになれないです。と云ったり、食事の場面です。と云ったり「おいしかったのです」と云ったり...という感じ。利用者が言葉を発しないから理解していないのではなく、その人なりの思いのなかで喜んでいたり、人だりしていることをこちらが理解し、言葉にならない思いに気持ちを



【佐藤 可奈子さんのプロフィール】大学を卒業後、民間企業へ就職する。その後、短大へ入学し保育士となる。現在、2児の母として、子育てをしながら保育士を続けている。休日に家族で近所の川にザリガニ釣りに行くのが楽しみのひとつ

この11年間で大きく悩んだ時期が2度あります。

1度目は就職して1年目。保育士1年目は、自分の思っていた保育士

この仕事をしたい、大きな壁に当たったことがあります。

職員は年齢層が広く、保育者として母としての悩みに悩まされ、保育者としての強い理想と、できない自分がいる現実とのギャップにすごく悩みました。今となれば誰しもが通る道だと思えますが、そのときはそう思えずに悩んでいました。2歳児のクラスを担当していましたが、先輩保育者は上手な言葉かけで子どもたちにご飯を食べさせてあげることができると、自分はいくらでもできない。おどおどしてしまふ、保護者の目を気にしてうまく話すことができない。笑顔でいられているか、不安やプレッシャーを感じました。

そのなかで自分を救い支えてくれたのは、クラスの子どもたちの笑顔や、子どもたちをギョッと抱きしめたり、私に抱きついてきてくれる何とも言えない感覚でした。理想と現実とのギャップに私が悩んでいたとしても、子どもたちは私を必要として

小田原愛児園・保育士・佐藤可奈子さんに聞きました

聴せること、それを伝えることで利用者に「受け止めてくれた」と感じてくれたことが大事だと先輩から教わり心がけています。

目標はあります。まずはグループホームの世話人になりたいです。専門学校に通っていた頃、グループホームでアルバイトという経験があり、「障害者」と「支援者」という枠組みを超えて、利用者の生活を陰ながら支えていけたら、と思っています。

フタバビューティーほうあんふじみのさと／支援員・久保未希子

支援で大切にしていることは、利用者の言葉にできない気持ちを憶測でも代弁することです。例えば、作業の時間になってもなかなか席に向かえない場面では今日は仕事をやる気持ちになれないです。と云ったり、食事の場面です。と云ったり「おいしかったのです」と云ったり...という感じ。利用者が言葉を発しないから理解していないのではなく、その人なりの思いのなかで喜んでいたり、人だりしていることをこちらが理解し、言葉にならない思いに気持ちを

聴せること、それを伝えることで利用者に「受け止めてくれた」と感じてくれたことが大事だと先輩から教わり心がけています。

目標はあります。まずはグループホームの世話人になりたいです。専門学校に通っていた頃、グループホームでアルバイトという経験があり、「障害者」と「支援者」という枠組みを超えて、利用者の生活を陰ながら支えていけたら、と思っています。

フタバビューティーほうあんふじみのさと／支援員・久保未希子

ご寄付・ご寄贈

名様	お米10キロ
名様	卓上コンロ(5台)とプロパンガス
名様	保育教材費
名様	30,000円
名様	41,303円
名様	20,000円
名様	5,000円
名様	50,000円
名様	ペンチ2脚
名様	30,000円
名様	100,000円
名様	100,000円
名様	200,000円
名様	タオル多数
名様	コンサート招待券50枚

2度目の壁は、結婚・出産し復帰した年でした。それまでは先輩と組んでクラス担任をしてきましたが、初めて後輩と組んでのクラス担任となりました。家の近くの保育園に預けた我が子は初めての園生活で大泣き!! 早く迎えにいってあげなきゃ...、いろいろなことに責任を感じていました。後輩はもっと自分に関心したいことがあったのではないかと悩んでいることを聞いてあげられて、いるのだからかと思いつくが、仕事を終えたら、すぐに園生活に慣れない我が子を迎えにくく日々が続いていました。

さまざまな保育者の保育に対する考え方や子どもとの関わり方に触れながら働いていくなかで、私はどの保育者が真似たらいいか、誰に聞いたらいいかわかりませんでした。でも、勇気を出して分らないことを聞いてみると、先輩が「自分もそうだったよ」と声をかけてくれ、少し肩の荷を下ろして働くことができた。また仕事に少しく慣れ、子どもをじっくり見ていくと、一人ひとりの持つ可能性の素晴らしさを感じることができ、その可能性を最大限に引き出せる存在でありたいと思えるようになった。

自分自身が毎日乗り越える原動力となってきた。自分自身が毎日乗り越える原動力となってきた。

自分自身が毎日乗り越える原動力となってきた。自分自身が毎日乗り越える原動力となってきた。

30年目を迎えた『福祉ほうあん』は、読者の皆さまの協賛金によって発行されています。法人として、個人としてご協賛いただける方を募集しています。協賛は1号につき7000円、年間2万円(3号発行)です。お申し込み、お問い合わせは社会福祉法人 宝安寺社会事業部 ☎0465-22-3030へ。

太平洋物流	代表取締役 稲葉 秀 之	小田原市夷部486	☎0465-37-5533
竹広林業	代表取締役 高木 大 輔	小田原市寿町3-1-39	☎0465-34-6600
㈱タチバナ商事	代表取締役 露木 康 裕	小田原市中村原154	☎0465-43-0537
	田 中 浩	小田原市東町2241-2	☎048-721-0872
㈱ちん里う商事		小田原市栄町1-2-1	☎0465-22-4951
㈱鳥かつ様	代表取締役 芹 澤 孝	小田原市浜町3-1-46	☎0465-22-2078
㈱西川組	代表取締役 湯 川 勇 二	小田原市東町1-13-35	☎0465-34-2424
㈱日進電気商会	取締役 長 田 晴	小田原市鶴宮287-4	☎0465-48-6288
仁天堂医院	理事長 岡村 俊一郎	小田原市浜町1-4-15	☎0465-22-5188
㈱長谷川建材社	代表取締役 長谷川 誠一	小田原市浜町1-1-35	☎0465-22-1346
㈱花のクワノ	代表取締役 河 野 秀 雄	小田原市橋山2421-3	☎0465-37-2882
浜野電気管理事務所	浜 野 喜 一	小田原市矢作321-6	☎0465-48-7475
平原眼科クリニック	院長 平 原 敦 子	小田原市南鶴宮3-44-3	☎0465-47-9330
古橋産婦人科医院	院長 古 橋 進	小田原市南町2-1-43	☎0465-22-2716
㈱古屋花店	取締役社長 古 屋 正 広	小田原市栄町1-14-16	☎0465-22-3043
文化堂印刷㈱	取締役社長 秋 野 健 治	小田原市寿町1-10-20	☎0465-34-9206
㈱ホンダ販売小田原	代表取締役 太 田 茂 雄	小田原市寿町5-10-21	☎0465-34-8012
㈱松坂屋	取締役社長 越 川 俊 雄	小田原市栄町1-16-46	☎0465-22-3020
マルク本店	取締役会長 高 井 哲	小田原市本町2-4-23	☎0465-23-0909

三宅塗装工業㈱	代表取締役 三 宅 史 大	小田原市浜町3-12-26	☎0465-22-3689
宝安寺植家	村上 みつ希	小田原市南町4-10-15	☎0465-23-2760
諸星整体施術院	院長 諸 星 茂	小田原市栄町2-13-21	☎0465-22-8067
安間医院	院長 安間 美津彦	小田原市栄町2-7-18	☎0465-23-3567
山口耳鼻咽喉科医院	院長 山 口 潤	小田原市浜町3-12-1	☎0465-22-2631
㈱山 安	代表取締役社長 山 田 義 征	小田原市羽根510	☎0465-23-0011
横田小児科医院	理事長 横田 俊一郎	小田原市北ノ窪515-3	☎0465-34-0666
吉井整形外科	理事長 吉 井 新一	小田原市栄町2-15-16	☎0465-24-5151
読売センター小田原中央	代表 坂 本 敬一	小田原市中町3-10-11	☎0465-21-0312
読売センター小田原報徳	所長 綿 貫 徹	小田原市郷之内1	☎0465-36-3683
読売センター小田原西部	代表 高 田 正	小田原市西町2-7-15	☎0465-35-0746

車両助成を受けた日産キャラバンが活躍中



ほうあん第一しおんでは、日本財団さまの車両助成を受けて日産キャラバンを購入しました。平成28年3月30日に納車され、障害者の作業支援において活躍しています。ありがとうございました。

佐藤さんのヒストリー

- 民間企業に就職後、保育士に転身、小田原愛児園へ就職
- 結婚・第1子妊娠・出産
- 育児休暇
- 職場復帰
- 第2子妊娠・出産
- 職場復帰

インタビューを終えて

可奈子先生は今、保育士1年目と

A 現在の状況を教えてください。
現在2人の子が小田原愛児園に通い、保育者から成長を聞くことが励みになっています。また、家族の協力にも本当に感謝しています。自分自身が子育てをするようになり、子育てしながら働く大変さや忙しさが身をもって分かるようになりました。それでも、子どもの成長に感動し喜びを感じることに、楽しさとやりがいを感じています。これからも、支え合っているという感謝の気持ちを忘れず、誇りを持って仕事をしたいです。

Q 現在の状況を教えてください。
小田原愛児園の職員は年齢層が広く、保育者として母としての悩みにさまざまな意見やアドバイスがいただけるので心強いです。

子育てで仕事もちゃんとやりたいと思っていたのに、どちらか中途半端で申し訳なさを感じ、自分を責めたこともありましたが、でも、後輩の一生懸命さを感じましたし、子育てをしている保育者を見て自分だけじゃないとも思いました。

同じ2歳児クラスを担当しています。



きはこの担当する子どもたちを見ていくことで、精いっぱいだった。そんな

可奈子先生が今年度の目標をこんなふうに語ってくれました。
「クラス全体を把握し、新人の保育者も気にかけて、クラスの職員が協力し合って子どもたちを見ていくことができるようにしたいです。出産して増えた経験や知識もあるけれど、それだけではなく、保育者として専門的な学びを深めて、保護者の方に安心してもらえるような支援ができるようになりたいです」



「二人では完璧になてできない」ということを受け入れること、支え合う意味や大切さを感じ、可奈子先生の輝きは、より一層増しているように感じています。悩みながらも「こうなりたい」と努力し続けている姿が、また誰かの壁を乗り越える力となるのかも知れません。



私たちは『福祉ほうあん』発行に協賛しています

あおのペトリクリニック	代表取締役	青野 浩之	小田原市府川31-2	☎0465-32-0010
飯山新聞店	代表取締役	飯山 修	小田原市鶴宮26	☎0465-47-5422
行政書士池田事務所	行政書士	池田 聡	小田原市久野307-8	☎0465-34-4820
保安寺檀家		石井 寛治	小田原市中曾根78-6	☎0465-36-2190
伊勢治書店	代表取締役	筒井 正博	小田原市栄町2-13-3	☎0465-22-1366
伊勢屋	代表取締役	大矢 雅一	小田原市本町3-6-22	☎0465-22-3378
寝具の店井上	社長	井上 久嘉	小田原市栄町2-10-13	☎0465-22-3141
魚由商店	代表取締役	湯川 弘	小田原市曾根1776	☎0465-36-0019
大菊商会			東京都墨田区辰子3-37-18	☎03-3426-5321
大村楽器店	代表取締役	福田 良治	小田原市栄町2-11-28	☎0465-22-1132
南才ザワ	代表取締役	小澤 宏治	小田原市栄町2-13-44	☎0465-22-2280
小田原ジムキ	取締役会長	山田 克己	小田原市浜町1-2-5	☎0465-23-0105
小田原域内ネット倶楽部	代表取締役	瓜谷 綱延	小田原市根府川667	☎0465-29-0111
小田原報徳自動車・太陽自動車 代表取締役		曾我 良成	小田原市浜町1-6-8	☎0465-22-8181
龍清	取締役社長	石黒 駒士	小田原市本町3-5-13	☎0465-22-0251
神奈川トヨタ(株)小田原中央店	店長	高橋 修	小田原市居町1-19-3	☎0120-673-611 ☎0465-32-7411
かもめ耳鼻咽喉科	理事長	鈴木 正彦	小田原市南宮3-33-16	☎0465-48-4133
鶴宮自動車学校	代表取締役会長	井上 三郎	小田原市南宮2-32-4	☎0465-47-2147
川邊小児科内科医院	理事長	川邊 修二	小田原市酒島5-13-38	☎0465-47-2351

環境技研	代表取締役	立花 春夫	厚木市戸田2443-1	☎046-229-6856
南久野石材	代表取締役	瀬戸 誠次	小田原市久野154-17	☎0465-34-4096
くわばら歯科医院		桑原 敬樹	小田原市浜町1-1-29	☎0465-22-5565
河正会この歯科診療所	理事長	河野 力	小田原市鶴宮601-5	☎0465-48-5455
小林病院	理事長	小林 泉	小田原市栄町1-14-18	☎0465-22-3161
さがみ信用金庫	理事長	片桐 晃	小田原市浜町1-4-28	☎0465-24-3161
三洋美装		渡瀬 剛行	小田原市桑原867-14	☎0465-37-4363
樹三消毒	代表取締役	野島 謙次	小田原市久野851-4	☎0465-34-3395
波谷歯科医院		奥津 明美	小田原市本町1-1-8	☎0465-22-0418
街ジャクエツ藤沢店	店長	牧野 宏章	藤沢市大塚1203-9-10	☎0466-27-0611
	保安寺檀家	杉崎 喜久江	小田原市栄町2-2-10	☎0465-34-7254
杉崎茂法律事務所	弁護士	杉崎 茂	小田原市本町2-3-24	☎0465-24-1860
杉本登記測量事務所		杉本 卓司	足柄上郡相模原市緑2173	☎0465-82-6606
鈴木電設	代表	鈴木 三夫	小田原市中里75	☎0465-42-2525
樹スポーツプラザ報徳	代表取締役	安藤 博二	小田原市堀之内458	☎0465-37-4600
樹西湘広告社	代表取締役	諸星 晃	小田原市栄町4-4-12	☎0465-35-5573
樹セキチベーカーリー	代表取締役	関口 和敏	小田原市浜町3-2-1	☎0465-32-7311
樹セトプリント	代表取締役	瀬戸 和美	小田原市久野470-6	☎0465-34-3211
樹瀬戸米穀店	代表取締役	瀬戸 秀幸	小田原市本町1-9-47	☎0465-22-4125

社会福祉法人 保安寺社会事業部 平成27年度事業報告

小田原乳児園

【小さいお子さん(0～1歳)の保育園】
◆乳児園の子どもたちは遊びが生活です。27年度は「遊び」を職員全員で見守りました。月齢・年齢に合った手や指を使った棒さし遊び、全身を使ったマット遊び、リズム遊びなど、月毎に計画性を持って話し合いを行い、より良い成長に繋がるよう工夫しました。子どもたちも道具が出てくると生き生きとした表情で、のびのびと遊びを楽しむ姿が見られました。



◆子育てオアシス(愛児園と合同)の利用者のべ1460名。担当保育者が遊びをリードし、育児相談を受けながら親子でホッと一息つける場を提供しました。れんげ組(一時預かり保育)の利用者のべ824名。

小田原愛児園

【2歳～就学前までのお子さんの保育園】



子どもたちの基礎体力作りの取り組みにさまざまな運動遊びを取り入れ、保育を展開してきました。昨年度からゲストティーチャーとして新たに中西あすか先生をお迎えし、体育遊びの取り組みに力を入れてきました。「やってみたい」という意欲を育み「できた」と喜び、自信が持てるような子どもたちが今後さらに増えていくよう、引き続き楽しい運動遊びの体験を大切にしていきます。

また、思い出さくら基金では、みやぎ・わらすこプロジェクト宮城学院女子大学の磯部裕子先生を通じて、東北の被災地の子どもたちへ手作り品と支援金10万円を送りました。今後もこの事業を続けていきたいと思ひます。

ほうあんふじ

【地域の子どもたちのための「児童発達支援センター」です】

◆子どもたちの遊び場を増やすために中庭の工事をしました。人工芝となり吊り遊具を吊るして遊べる場所にもなりました。子どもたちは裸足で走ったり、寝転んだり、ミニカーやブランコに乗ったりと新たな遊び場所を楽しんでいます。また、ほし組保育室床暖房の工事を実施し、子どもたちのための快適な環境作りに取り組みしました。



◆作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・臨床心理士による発達評価を活かした個別支援計画書を作成し、子どもたちのよりよい療育支援を行いました。

こどもホッと相談カフェ

【福祉サービスのご要望に沿った計画相談(サービス等利用計画)を支援】



定期的な相談支援以外に、緊急対応や、地域で活用できるサービスに限られている方などの相談支援の対応をしました。一般的には困難ケースといわれるものもあり、老障介護(高齢の親が障害のある子どもを支えている、あるいは逆のケース)でのご家族の急な体調不良やケガ、医療の必要度が日常的に高い方など、理由や状況はさまざまですが、特別な支援が必要な利用者の短期入所先を見つけることや、在宅生活を維持するためのサービスに繋げるなど、関係者が課題を共有し、支援者を増やすなどの活動に取り組みしました。

ほうあんのぞみ

【障害のある人の就労支援、余暇支援などを行っています。クッキー、サンドイッチ、ネパールカレーなどの製造販売もしています】



◆利用者や職員でユニットを組んで企業等に出向いて仕事をする「施設外就労」を積極的に行いました。一日あたり平均8人が施設外就労に参加できました。
◆地域のイベント(地球市民フェスタ、小田原ツーデーマーチ、尊徳マラソン、小田原屋台フェスタ等)に出店し、ネパールカレー等を販売し、たくさんのお客様さまに食べていただきました。
◆ハローワーク小田原等との連携により利用者5名が企業に就職しました。

ほうあん 第一しおん

【就労に向けた訓練や、日中活動のなかで利用者の特性に合わせた作業を提供しています。また、養護学校や特別支援学校の生徒を対象とした放課後等ディサービスの活動を行っています】

◆新たに菓子工房「グウテ」を改築し、ジーンズ先生の食事療法用菓子の製造を開始しました。
◆パン工房「グウテ」では新商品の開発、新しいパッケージデザインを導入しました。また、メープルメロンパンは評判が良く、多くの方から「おいしい」との声をいただきました。
◆放課後等ディサービスでは使命を決め、活動内容をお伝えするパンフレットを新たに作成しました。



ほうあん 第二しおん

【重い障害のある方たちが、楽しんで活動し、充実した毎日を送るための支援をしています】

◆利用者の方たちが元気に笑顔で暮らすため、危険予知力強化と基礎介護技術の習得に取り組み、事故防止と支援の質の向上に努めました。
◆利用者の皆さま一人ひとりがその人らしく過ごせるように、日々の支援の基となる個別支援計画書の質向上に取り組みしました。



◆地域の方たちとの交流をさらに深めるため、8団体のボランティアの方たちに求所していただきました。また、地域の合同避難訓練に参加し、地域の方と親睦を深めました。

ほうあん ふじみのさと

【障害のある方たちが共に生活し、活動する場です】



ふじみのさとでは「口中活動の充実」が急務の課題でした。そこで、活動しやすい環境を作り、もっと自分らしい作業ができるようにビーズアクセサリー作りや、農園作業に取り組むことにしました。その結果、作業室が整理され活動スペースが広がったので、穏やかに作業ができ、利用者同士の人間関係も良くなりました。利用者の皆さんの作品には、「きらりフェスタ」などで目にかれます。

平成27年度決算についてご報告します。平成27年度は、法人全体で取り組んでいる事業それぞれにおいて、定員いっぱいでの開園や利用者を受け入れると共に、保育・療育・支援の質の向上に取り組んだ1年であり、今後の地域的福祉ニーズを踏まえた事業展開を目指し、準備に取り組んだ年でした。結果として、法人全体の事業活動の収支差額(損益)は約1億3400万のプラスとなり、総資産は1億5700万円、純資産は1億1300万円増え、将来の事業展開に向けて備えることができました。このことは、地域の皆さまの応援や行政のご指導の賜物であり、職員一人一人が園児・利用者・ご家族のために、力及ばずながら少しでも良い保育・療育・支援を提供しようとして取り組んだ結果であると思ひます。しかし平成29年より始まる「複合型福祉拠点(小田原市本町)施設整備」への自己資金約3億円の出資、ほうあんふじに通う子どもたちのための環境整備、ほうあん第一しおん・第二しおんの修繕と将来の建て替え、今後さらに二丁の高まるグループホームの整備等を考えると、将来的にはかなりの規模の投資が予測されます。そのため、今後もこれら以上に堅実な事業運営を行う必要があり、報告書に定める分度と推察に学び、これを実行してまいります。

(単位:万円) 平成27年度決算 貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	71,397	流動負債	15,305
現金預金	51,369	未払金	5,682
未収金	19,146	1年以内返済予定借入金	3,809
棚卸資産	79	賞与引当金	4,806
その他の流動資産	803	その他流動負債	1,008
固定資産	271,125	固定負債	40,285
基本財産(土地・建物)	210,115	設備資金借入金	33,002
その他の土地・建物・構築物	11,814	退職給付引当金	7,283
器具及び備品	6,498	負債の部合計	55,590
車両運搬具	1,391	純 資 産 の 部	
建設仮勘定	6,315	基本金	60,359
その他の固定資産	260	国庫補助金等特別積立金	104,007
退職給付引当資産	7,283	その他の積立金	27,449
積立資産	27,449	次期繰越活動収支差額(うち当期分 13,480)	95,117
資産の部合計	342,522	純資産の部合計	286,932
負債の部合計	342,522	負債及び純資産の部合計	342,522

決算の詳細についてはHP(<http://houan1900.jp>)をご覧ください。

社会福祉法人 保安寺社会事業部 平成27年度決算報告

社会福祉法人の運営は、国や県、市町村からの運営費、および市民の皆さまからの寄付等によって成り立っています。今後も地域の福祉を担う一員として、国の考えや神奈川県、小田原市を中心とした県西部地区・町の意向、並びに市民の皆さまの福祉ニーズの把握に努め、この地域の発展に貢献していきたいと思ひます。

※平成27年度は以下の投資を行い、サービス向上や更なる事業展開に取り組まれました。

- ①複合福祉拠点着工
- ②ほうあん第一しおん「菓子工房グウテ」改築工事
- ③ほうあんふじ中庭工事、暖房工事、ホール床張り替え
- ④ほうあん第二しおん大木の伐採等施設周辺環境整備
- ⑤ほうあんふじのさと屋外トイレ
- ⑥全施設老朽対策および施設修繕